

公益社団法人 東京都臨床検査技師会 平成 26 年度 第 3 回理事会議事録

日 時：平成 26 年 6 月 18 日（水）19 時 00 分～21 時 30 分

場 所：都臨技事務所

出席者：下田、千葉、小松、宮崎、高城、中西、鈴木、原田、工藤、土橋、蝶名林、佐藤、杉岡、小山、
松村、多田、大野、星野、東海林監事

1. 理事行動報告

5 月 19 日（月）学術部会	高城、中西、蝶名林、大野
5 月 19 日（月）事務局常任委員会	宮崎、鈴木
5 月 23 日（金）編集委員会	高城、蝶名林
6 月 4 日（水）都臨技監理会議	下田、千葉、小松、高城、中西、原田、鈴木、工藤、小山、多田、三橋
6 月 9 日（月）組織部会	小山、佐藤、松村、多田、蝶名林、原田、千葉、杉岡
6 月 9 日（月）会計部会	鈴木、土橋
6 月 13 日（金）地域保健共催部会	佐藤、原田

2. 報告事項

(1) 平成 26 年度第 1 回理事会および平成 26 年度第 1 回監理会議の議事録の内容確認。

訂正事項は庶務に直接伝える。周知が必要なものはメーリングリストで回覧する。

(2) 都臨技会誌に掲載した議案書に、審議すべき決算書が掲載されておらず、1 号議案に決算書を加えた「訂正版議案書」を発送しなした。都学会の演題募集要項を配布する時期でもあり、議案書と一緒に送付した。多くの方に発送作業に協力いただき、15 日に無事発送終了。

(3) 各部局報告

○組織部

【報告事項】

<部長報告>

役員選出委員と表彰選考委員の選考を次回理事会まで行うこと

各支部は 6 月の理事改選に向け引継ぎ事項をしっかりと確認すること

次回の部会（7 月 4 日）は新役員選出後の引き継ぎを行う予定

<各支部報告>

東支部：5 月 22 日（一般） 会員 93 名、学生 12 名、非会員 14 名、計 119 名

西支部：5 月 14 日（輸血） 会員 41 名、学生 5 名、非会員 0 名、計 46 名

南支部：5 月 14 日（細菌） 会員 31 名、学生 3 名、非会員 5 名、計 39 名

北支部：4 月 10 日（臨床化学） 会員 19 名、学生 0 名、非会員 7 名、計 26 名

【検討及び確認事項】

都臨技オリエンテーションへの日臨技からの助成は本年度あるのか

【審議事項】特記事項なし

○地域保健共催部

【報告事項】

1. 看護フェスタ 2014 について

開催日：2014 年 5 月 17 日（土） 12:00～16:00 場 所：新宿駅西口広場イベントコーナー

内 容：血糖測定・骨密度測定・結果説明 実務委員：30 名

来場者：血糖測定 413名（昨年 459名）、骨密度測定 532名（昨年 605名）結果説明 100名（昨年 103名）

2. リレー・フォー・ライフ町田について

開催日：2014年6月7日・8日 13:00～12:00 場所：鶴間公園

内容：乳がん視触診モデルによる啓蒙活動および、疑似便を用いた便鮮血検査検体採取法の啓蒙
荒天のため主催者より中止連絡あり。

【検討事項】

1. 平成26年度第1回学生対象講演会について

開催日時：7月5日（土） 14:00～16:30 場所：JCHO 東京山手メディカルセンター 4階講堂

テーマ：「これからの臨床検査技師像とは～無限の可能性を生かせ！～」

講師：「管理者の立場から、これからは臨床検査技師像とは」 椎津 稔 先生（野村病院）

「エンブリオロジストとは」 内山 一男 先生（加藤レディスクリニック）

「治験コーディネーターとして輝く臨床検査技師の姿」 萩原 美保 先生（株式会社エシック）

担当集合時間：13:00 受付開始時間：13:30～

当日参加できる幹事：荒木・栗田・中島 交通費を含めて再度幹事全委員にメールにて確認する。

印刷物：講師名・学校別受付・一般受付・入会受付等は原田が印刷し24日の総会時に持参する。

学生参加人数：17日を受け付け締め切りとしているが、本日現在申し込みは来ていない模様。

飲料準備の関係もあるため、最終人数を今月中に荒木幹事まで連絡する。

受付について：会員と非会員とで受付作業が煩雑となる。予め会員・非会員がわかっていると良い。

非会員人数にもよるが、開始前の受付での入会作業は困難か？前回同様、休憩時間中に
入会受付をしてはどうか？

学生会員証およびおつりの準備を忘れずにする。（500円硬貨準備）

2. 検査と健康展2014について

開催期日：11月中の土曜日または日曜日 対象：一般都民 予算：500,000円

開催候補地：タワーホール船堀・スペース634（東京ソラマチ5階）・レンタルスペース等

現状での空き状況を含めて確認する。 日臨技企画書提出締め切り：6月27日

3. リレー・フォー・ライフ上野について

日時：9月20日（土）13:00～ 21日（日）13:00 場所：上野公園

内容：疑似便を用いた便鮮血検査検体採取法の啓蒙、検査結果相談、乳がん視触診モデル

4. 各支部における市区町村主催まつりの進捗状況

東支部：江戸川区民まつり：10月12日 9:00～16:00、江東区民まつり：10月19日 10:00～16:00で開催決定

西支部：稲城市民まつり⇒稲城フェスとして7月27日に稲城市民病院で開催、小平市民まつり：10月19日開催予定

南支部：品川健康まつり

開催日：5月24日（土） 場所：戸越公園 内容：尿定性・血管年齢測定 実務委員：4名

来場者：血管年齢測定 139名、尿定性検査 20名

大田健康まつり：10月25・26日開催予定

北支部：大新宿区まつり：10月19日開催予定、いたばし健康まつり2014：未定

各市区町村主催のまつりは、今まで支部管轄でしたが、今年度からは地域保健共催部で人数等の把握をしますので、
各幹事の方は、参加したまつりの報告をお願いします。保険申請につきましても、地域保健共催部で申請します。実
務委員が決定次第報告をお願いします。

○学術部

【報告事項】

1. 前回議事録確認し、これに伴い研修会の資料準備について、確認と状況報告があった。

・資料の準備について

資料を都臨技の事務員が準備する件については、作業量がわからないので受けてもらえるか不明。

100部以上準備するなら、ネットなどで頼むのも一つである。資料は多めに準備しておいてほしい。

印刷代として請求するなら、ちゃんと印刷屋などに頼んで領収書をもってほしい。

・学生会員について

都外の学生も都臨技の学生会員として入会可能か→可能。⇒都外の学校でも可能。

会員証は昨年配布したものがそのまま使えるので使ってほしい。

先日、研修会で申請用紙がないために非会員扱いとされたとのクレームがあったため、申請用紙がない場合でも入会する意思のある学生は会員扱いにするように指示が出された。

2. 理事会報告

平成 26 年度都臨技総会は 6/24 (月) 19:00～ 東京山手メディカルセンターで開催予定。

代議員の方の出席をお願いしたい。

3. 編集委員会報告

まもなく 5 月号が各施設に到着する見込み。8 月号の特集は化学。11 月号は免疫。

各支部の学術研修会は要旨を 1 回分入稿してほしい。送り先は各研究班の編集委員。

4. 精度管理委員会報告

H25 都臨技サーベイの最終報告書作成中。

5. 生涯教育委員会報告

期間中の該当研修会 9 件、自己申告 3 件 28 名

6. 学会関係

学会の企画委員会が 5/14 に開催された。

研究班企画は 1 時間×3 コマを確保。微生物・血液・生理の各研究班に中心になっていただき、内容やコラボする研究班を 6/27 までに決めて中西さんまで連絡をしてほしい。(単独でもいくつかの研究班とコラボしても可。コラボする研究班の数に制限はなし。)

一般演題の募集は 7 月末までの予定。協力をお願いしたい。

7. 東放技の原稿

総会開催の関係で、掲載時期が 1 ヶ月後ろにずれることが判明。

以降の予定は 6 月:臨床化学、7 月:免疫血清、8 月:血液 で終了。

8. その他

・日臨技助成金について

日臨技より交付額について、以下の 2 つから選ぶようにとの指示があり、検討した。

①1 研修会ごとに最高 5 万円の助成金がでる

②1 研修会ごとに 2 万円及び参加人数 (最大 60 名) ×500 円 (最高 5 万円)

上記の②を採用した場合、研修会で 60 名以上集まる研究班が偏ってしまう。(血液や一般など) また、参加者数は当日でなければわからないので、不確定な要素もある。

昨年度までは各研究班に 2 回ずつ助成金の申請をしていた。

①を採用した場合、あらかじめ高額の支出が見込まれる研修会 (講演を医師に依頼する場合など) に助成金をあてがうことができる。

以上より学術部会として、①の方が望ましいということで意見がまとまった。

尚、研修会終了後 1 ヶ月以内に決算報告書の作成が必要なこと。参加登録は日臨技会員のみ行っておけばよいこと。出力は都臨技の事務員さんがやってくれること。が確認された。

日臨技の助成金の説明書に書かれていた「研修会終了報告書」については不明なため、高城学術部長より日臨技へ問い合わせることとなった。

・幹事行動費について

都臨技の役員及び委員・幹事等諸費用弁償規定を参照しながら説明があった。

講師謝礼は源泉徴収した額を支給すること。

学識経験者 (医師、大学教授等) に講演を依頼する場合の上限は 50000 円となっているが、講師等に依頼する場合などは班長の裁量に任せる旨が報告された。(上限は 50000 円)

・都臨技 HP の「研修会カレンダー」について

震災でスケジュールが混乱している際に学術部より要請があり作られたもので、班長が更新するルールであったが、まったく機能していなかった。このため、カレンダーが必要なのかについて高城学術部長より問い合わせがあった。

必要ないという意見が大半であったため、事務局に削除を依頼することとした。

【討議事項】

1. 都臨技の各研究班のHPについて

使用したいという申し出があった研究班について開設している。毎月500円を払っているが、いくつかの研究班では更新などが行われずに実質放置状態となっている。このため、再度、HPが必要なのか確認することとなった。

これからも使いたいと申し出があった研究班は輸血・微生物・情報。それ以外は今決定できないとした研究班もあった。

このまま放置しても費用が無駄になってしまうため、あと1年間使用実績がない場合は削除する方向性であることを新学術部長に引き継ぐこととした。

○学会運営部

【報告事項】

第16回演題募集要項を各施設あてに送付した。

⇒都臨技ホームページのバナーが5月の医学検査学会（新潟）のままになっている⇒急ぎ張替え作業を行う

○庶務部

【報告事項】

平成26年5月31日現在の会員数4508名（平成25年度会員数 4503名）

賛助会員が平成25年度78社より62社に減っているが、皆様のご協力により先月より8社からの入金があった。

ヤマサ醤油については6月10日に入金を確認できたので欄から削除をお願いする。

引き続き賛助会員未入金リストの業者に声掛けをお願いする。

○会計部

【報告事項】

1. 平成26年5月の予算管理月報、他3表を作成、別紙資料に報告します。

2. 【平成26年5月31日現在の会費収入状況】

	H24年度実績	前年同月実績
入会金納入者合計数	125名	104名
（入会金納入者数）	（124名）	（104名）
（減免入会金納入者数）	（1名）	（0名）
正会員会費納入者数	4,483名	4,231名
学生会員会費納入者数	100名	—
賛助会員会費納入社数	62社	71社
未納者数	0名	44名

3. おもな5月の事業活動収支について

◎収入

- ・ 雑収入 雑収入 80,000円（日臨技定時総会議決権行使書回収委託費）

◎支出

- ・臨検啓発事業 委託費 678,262円（都臨技会員証発行・4,343名）
- ・管理費 通信運搬費 19,040円（委嘱状送付/136通）
- ・管理費 印刷製本費 47,628円（名刺印刷・マーク作成費）

○事務局

【報告事項】

1. 5月の活動報告

看護フェスタ関連：参加者あてに資料・パンフレット郵送（30名）のヤマト便の発送、受け取り

委嘱状の発送：支部幹事33名、学術幹事103名（5/15発送）支部幹事2名、地域保健共催部常任委員1名（5/22発送）

平成26年度定時総会への代議員案内：代議員44名、次期役員6名（5/23発送）

役員歴の登録（退任、辞任）、ご意見書のとりまとめ、代議員出席票の取りまとめ

2. 他団体との交流（予定を含む）

6月26日（木）東京都看護協会平成25年通常総会開会式（千葉副会長）

7月12日（土）茨城県臨床検査技師会 新法人移行式典

(4) 各委員会報告

○編集委員会

【報告事項】

1. 平成26年8月号の入稿状況について
 - ・特集：臨床化学班 未入稿
 - ・医療情報シリーズ 日赤事業部にお願いして「献血ルームの現状～採血のウラ話～」予定：6月初旬入稿予定
 - ・役員・幹事の名簿を掲載する。先行して入稿予定 6/24以降本決定のため
 - ・施設紹介 荏原病院を予定 未入稿
2. 支部研修会 支部研修会の記録は各支部で取りまとめて入稿すること

【検討事項】

1. 11月号シリーズについて
 - ・放射線技師を予定。
2. 会誌本文 「学術研究班の記録」を支部研修会記録も掲載するため「学術研修会記録」に変更 要旨のタイトルと記録のタイトルをそろえる
3. 支部学術研修会の要旨について
 - ・記録も掲載するので、各支部から研修会の記録をいただく。
 - ・要旨を早いうちに入稿すること。
4. 今後のシリーズ 過去のシリーズを調査(蝶名林次長) 引き続き審議。
5. 出版社の変更について
 - ・8月号から新しい会社からの発行となる。契約期間を8月～H27.3月とする

【審議事項】

提案 会誌本文 議案書掲載の関連で発行月を変更したいとのこと

H27年度～ 3月 6月 9月 12月 の案あり予定表を作成し、今後の検討課題とする

→今までは8月号に役員名簿等掲載していたが、6月の総会で役員等承認されたあとでは、期間が短く大変（8月1日発行：7月11日締め切り）なので発行月を来年度は変更したい。今年度についてはすでに発行月をうたっているため変更できない。役員が変わった新体制で次年度の事業のことなので、検討事項として引継ぐ。

本理事会の審議事項として記載されているが、審議事項ではない。

【連絡事項】

編集委員が変更する研究班は、新委員の氏名・施設名・所属・メールアドレスを大竹編集長へ送る。

○生涯教育委員会

【報告事項】

生涯教育対象行事登録者数（3月）

(No.)	(行事名)	(開催日)	(生涯教育点)	(登録者数)
1、	(臨床化学) 第2回北支部学術研修会	5月8日	20点	26名
2、	(微生物) 第2回南支部学術研修会	5月13日	20点	31名
3、	(生理) 虚血性心疾患の診断と治療の最前線	5月13日	20点	65名
4、	(輸血) 第2回西支部学術研修会	5月14日	20点	46名
5、	(免疫血清) 第1回免疫血清研究班研修会	5月15日	20点	42名
6、	(公益事業) 看護フェスタ2014	5月17日	20点	31名
7、	(病理) 第1回病理細胞診検査研究班研修会	5月21日	20点	67名
8、	(公益事業) STI 予防教室 (安田学園高等学校)	5月22日	20点	9名
9、	(血液) 第2回血液検査研究班研修会	5月22日	20点	146名
10、	(一般) 第2回東支部学術研修会	5月22日	20点	119名
11、	(微生物) 第2回微生物研究班研修会	5月23日	20点	119名
12、	(公益事業) 品川健康まつり	5月24日	20点	4名
13、	(臨床化学) 第1回臨床化学研究班研修会	5月28日	20点	109名

- 14、(生理) 腹部エコー検査 撮り方の基礎と症例から学ぶ 5月31日 20点 100名
申告 会場研修
- 1、微生物学英語勉強会 4月8日 基礎-10点 1名
2、微生物学英語勉強会 5月13日 基礎-10点 4名
3、第12回染色体遺伝子検査基礎技術セミナー 4月26日 専門-10点 3名
4、第1回国臨協関信支部主催研修会 5月19日 基礎-10点 33名

○データ標準化・精度管理調査・検査室認証委員会

データ標準化事業のCD化作業を進めている。日程：10月21日作成、10月22日発送
内容は昨年通り、来年度については今後決定

【審議事項】

賛助会員から会誌送付に合わせた配布物の申請があったので審議をお願いします。

○事務局常任委員会

【報告事項】

1. ホームページ管理の担当について

担当月	担当者	担当月	担当者	担当月	担当者
4月(2014年)	鈴木	8月	宮崎	12月	宮崎
5月	鈴木	9月	鈴木	1月(2015年)	鈴木
6月	島田	10月	島田	2月	島田
7月	市村	11月	市村	3月	市村

2. ホームページ管理の主な種類

- ① メールインフォメーションへのアドレス登録・管理及び定期配信。
- ② ホームページへの掲載依頼を「hp-toringi@tmamt.or.jp」アドレスにて受けて、掲載。
- ③ 求人情報を「assen-toringi@tmamt.or.jp」アドレスにて受けて、掲載。
- ④ 理事メールリングリストのアドレス登録・管理（ホームページ管理担当理事が担当）

【検討事項】

1. メールインフォメーションについて

- ① 現在は UMIN（大学病院医療情報ネットワーク研究センター）を利用しているが、2013年12月より Microsoft 系メール（hotmail、msn、live 等）への送信エラー障害が発生している。
原因は Symantec 社による過度なメールブロックによるとのことで、対策を依頼しているが現在も根本解決には至っていないとの情報提供がある。レンタルサーバ等の利用を検討する必要がある。
- ② 現在、ホームページのバックアップがおこなえていない。今後、バックアップの方法や費用について検討する必要がある。
- ③ ホームページ管理を担当する事務局常任委員や担当理事が変わることも想定し、ホームページ管理についての「練習の場」を設けることも検討が必要である。

【審議事項】

メールインフォメーションを現在の UMIN（大学病院医療情報ネットワーク研究センター）から都臨技ホームページの管理会社「パレットプランニングの都臨技サーバ」へ移行することを提案いたします。この件に関する費用は無料で、管理面からも現在より利便性が向上し UMIN と同等の運用が可能です。

3. 審議事項

○学術部

1. 精度管理・標準化事業規程（案）について

すでにメールリングリストで配信済み、日臨技の規程を基に作成された案について審議され承認された。

2. 精度管理・標準化委員会細則（案）について

委員の構成、委員の選出基準について定めた細則

⇒「この会」という表現と「本法人」という表現を定款、組織運営規定に合わせて「本法人」に統一する。これか

らのものは全部「本法人」と表記する。

⇒第7条3「欠員については、その任期は前任者の残任期間とする」では説明不足。「ただし補欠委員の任期は…」などの表現を追記する

⇒審議の結果、上述の2点について修正を行うこととし、細則案について承認された。

3. データ標準化・都臨技精度管理調査委員について

ほとんどが留任、もしくは同じ施設（標準施設）内での交代。

現委員のうち2名が生涯教育を研修制度修了していないが今年度には修了する。

精度管理調査委員については委員の交代で1名欠員。適任者が見つかれば次第補充する。

⇒データ標準化・都臨技精度管理調査委員について審議の結果承認された。

○庶務部

1. 新入会申請 84名（うち都のみ 10名）について

都のみの会員については会員分類が空欄であるが「正会員」である。

新卒で国家資格登録中（免許番号がない）場合、C賛助会員となる。入金歴がないと会員年数が空欄になる。

⇒審議の結果、新入会申請 84名について承認された。

○事務局

1. メールインフォメーションを「パレットプランニングの都臨技サーバ」へ移行する提案について

現在 UMIN（大学病院医療情報ネットワーク研究センター）を使用しているが、同事宛先でも届くときと届かない時があることが判明、また誰に届いていないかもわからない状態。

移行に際しての費用は無料で、管理面からも現在より利便性が向上し UMIN と同等の運用が可能。

⇒審議の結果承認された。

2. 会誌送付に合わせた配布物の申請について

トータル保険サービス（賛助会員）から 8月号送付時の封筒に案内を一緒に入れてほしいという依頼で、梱包作業における追加料金はトータル保険サービスが負担する。今までもパンフレットを別便で送付していた。

→賛助会員ということで認めると、他賛助会員からもチラシ等の封入を依頼され、作業が大変になる。

→広告と同等の内容、広告料相当の費用負担が望ましい

⇒審議の結果、広告料相当の費用を負担してもらうことで同封送付が承認された。

○【再審議】表彰選考委員会規程（案）

・いただいた意見を反映させた規程案、担当理事は2名では回らないため3名とした。

→「理事を省く」を「理事を除く」に表現変更：委員長、副委員長は理事以外から選出するという意味。

⇒審議の結果、承認された。

○会誌の製作・印刷・発送発注契約書について

今年度については1年に限るので第13条の自動更新については削除した。

7月1日付での契約とする

→承認された。

○後援依頼

第9回日本臨床検査学教育学会学術大会後援依頼について

今回は東京で行われるため、都臨技に後援が依頼された。日臨技の後援は承認された。

⇒審議の結果承認された。

4. その他

○検体採取の法案について

本日 6月18日参議院本会議において可決し成立した。

詳細内容については厚生労働省で検討中、来年4月からは採取が可能になるが、そのための研修が必須。

来年度からのカリキュラムには2単位程度の該当講座の追加が計画されている。

既卒者の研修は臭覚検査も合わせて16時間程度（2日間コース）年度後半には研修会を企画する。

○千葉上総アークで行われる首都圏支部学会について

演題応募締め切りが1週間延長され、都臨技にも演題協力要請があった

○6月24日定時総会について

代議員の現時点での出欠リストを提示した。連絡の無い代議員への確認にご協力をお願いする。

西支部の代議員として選出されたが東支部の施設へ転勤になった場合は、西支部の代議員として出席および決議を行う。

定時シナリオを別刷り資料として配布したので、総会当日は持参をお願いする。

監事招集により、総会終了後臨時理事会を開催して会長を選出する。改めて理事会を招集、新体制を決定する。

会場内で懇親会はできないため、今回は懇親会を用意していない。

○事務連絡

引継ぎ前に開催される編集委員会（6/26）学術委員会（6/30）については前任者の参加もお願いする

本日の理事会がこのメンバーで行う最後の理事会になる。公益財団法人化、支部化への体制変更等大きな課題に協力して取り組んでいただきありがとうございます。

総会時に退任される役員のカギを回収する。

4月～6月の行動費の申請をお願いする。

平成 26 年 6 月 18 日（水）

公益社団法人東京都臨床検査技師会

議長 下田 勝二 
(下田)

監事 東海林 治三郎 
(東海林)